

放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成30年12月5日(水) 13:30～15:40
- 2 開催場所 天草市港町9番1号 天草ケーブルネットワーク(株)会議室
- 3 出席委員 委員総数 8名
出席委員数 6名 欠席委員数 2名
出席委員の氏名 松下美奈子(委員長) / 古賀源一郎(副委員長) / 中川竹治
野上俊樹 / 山口誠治 / 原田竜一
欠席委員の氏名 永田章一 / 明瀬実
放送事業者側の出席者 メディア事業部長 芥川琢哉 営業企画課長 藤川陽介
ラジオ制作課係長 脇坂公敏
オブザーバー 天草市情報政策課情報政策係係長 石井隆
天草市秘書課広報広聴係係長 宮本諭

4 議題

- [1] 開会、委員長挨拶、メディア事業部長挨拶
- [2] 報告事項
- [3] 番組聴取、審議
- [4] その他

5 議事の概要

(1) 松下委員長が開会宣言、委員長挨拶行い、メディア事業部長 芥川の挨拶の後、報告事項に入った。

(2) 報告事項

メディア事業部長 芥川より、11月18日(日)特別番組「あまくさ Happy Hunting」、12月3日(月)特別番組「はっち～バースデーみんな集まれ!みつばちラジオ誕生会」、番組改編について説明が行われた。議長は報告事項について意見を求めた。

① 小山薫堂さんの「あまくさハッピーハンティング」について

- ・薫堂さんが「一年も経つのに、こういった長尺の番組をまたぐ特別番組をやってない」と言っていたが、それがスペシャルバージョンとして実現した形となった。
- ・前日、FM横浜とタイアップし、中継を交えながら紹介をしていた。もっと他局とタイアップして欲しい。
- ・もっと地元の人をクローズアップして欲しかった。一部の人から、身内だけで楽しんでいるとの意見もあった。みつばちラジオのからみも、もっとあった方がよかったのでは。
- ・第一映劇での「天草映画祭」は、何時から何があるのか告知が足らなかった。
- ・ラジオの放送外では多くの市民との交流があった。くろんぼカレー300食の完売、酒飲みチームの交流、牛深チームの市職員との交流など、多くの足跡を残してくれた。

- ・斬新な企画、仕掛け、番組構成、市・みつばち・BSフジその他メディアとのからませ方などを考えると、やはり大したものだと敬意を払いたい。
- ② 「はっち～バースデーみんな集まれ！みつばちラジオ誕生会」について
 - ・雰囲気がとても良かった。パーソナリティ、スタッフの融合・融和が良かった。
 - ・開局当時は硬かったが、一年経ってはしゃげるようになり良かったと感じた。
 - ・はしゃぎすぎもあった。過激な発言、品格のない発言があった。
 - ・最後の芥川局長のいい挨拶で締めてもらえて良かった。局としてどこまでがOKか指針が必要。
 - ・クレームが3件あれば、その後ろに100人がある。一度、立ち止まって考えたほうがよい。
 - ・確かにいつもより、発言がひどかった所があった。
 - ・市の番組は良かった。良いきっかけになればと思う。今後の展開に期待したい。
 - ・まだまだ、行政用語があった。もっと小学生、高齢者にも理解できるような分かりやすい説明が欲しい。特に災害時など、人々が緊張している時に行政用語を使っても意味が伝わらない事を理解し、普段から分かりやすい言葉を使って欲しい。
- ② 番組改編について
 - ・以前 審議会で、牛深から本渡に務める人など、朝が早いので、もっと早くから放送ができないかとの意見があった。朝の生放送が6時30分からとなっており、早い時間からリスナーの反応があるのは良かった。反面、パーソナリティ、スタッフの負担が大きくなる。配慮をお願いしたい。
 - ・「めいどサロン」総集編は喜ばれるだろう。天草のいろんな人を知る事ができる。隠れた人材をもっともっと引き出してほしい。
 - ・ゲストを呼ぶ番組で、途中から聴いた場合、誰が出演しているのかわからない。途中でも上手く紹介をして欲しい。
 - ・ゲストで出演した人をホームページ、フェイスブック、ツイッターなどで紹介をして欲しい。
 - ・ラジオ体操、天草弁の入ったCMはとても良い。局の色が出てきたと感じた。

(3) 番組聴収、審議

- ① お昼のみつばちラジオ（12月4日分を試聴）
 - ・この二人（池田、落合）は落ち着いてなめらかなので、安心して聴く事ができる。パーソナリティに個人差があるので、はらはらする時がある。
 - ・みつばちランチについて、ラジオでイメージしたものをフェイスブックなどで写真を使って紹介ができると売りに貢献できるのでは。
 - ・みつばちランチでどうやったら紹介してもらえるのかとの質問を聞いたことがある。ラジオで募集の告知もして欲しい。
 - ・天草のランチの相場はワンコインと言われている。コンセプトは分かるが、ワンコインのランチの紹介はできないのか？

② 熊本県中学校駅伝競走大会（11月9日）

- ・スポーツの中継は事前準備が必要。生放送ならば、特に必要となる。これをしようと思うのなら、リポーターにかなり負担をかける事になる。今回のような放送内容だったらリスナーから不満がでるかもしれない。
- ・ラジオなので、順位とともに情報、情景を求める。リポーターの事前準備と表現力が必要となる。
- ・今回は通常番組内で順位を紹介するというスタイルをとったが、次回からは特化していいかもしれない。特に天草郡市の大会はリスナーの関心が高い。
- ・各学校にアプリのチラシを配ってもらうと聞いてくれる人の拡大につながる。
- ・あわせて、マラソン大会の中継も誰に向けて放送しているのか、どう伝えるか、方策を練って欲しい。応援ソングをかけても、走っている人は聞いていない、聞いてもらう仕組み、ひと工夫が必要。
- ・駅伝も、どのスタンスで放送するのか、特化して集中してやるのか、番組内で情報を差し込む内容で放送するのか、検討して欲しい。

(5) その他

- ・アプリの登録が9848件、もうすぐ10000件との事だが、災害情報をプッシュ通知で流せないのか。市と連携して進めて欲しい。
- ・音楽番組が同じ曲が多いとのリスナーからの指摘がある。改善して欲しい。また、その番組内にメールFAXお葉書でリクエストを募集しますとの告知をいれたらよいのでは？
- ・もっとFBなどを、ケーブルテレビと併せて活用する必要がある。
- ・なれ合いは良くないのでは。社員をタレント扱いしているような風潮が見受けられる。リスナーによっては鼻につく事もある。
- ・一年経って、スタート当時は許されていたが、今からは許されない。パーソナリティ、スタッフ、ここまではレベルをあげましょうというものが必要。
- ・夜の時間枠を30分単位で販売する事も検討している。公序良俗に沿って放送基準を定め、販売していきたい。
- ・わわわの番組はとても評判がよい。プロフェッショナルなゲストを交え、その時、その季節に沿った子育てに必要な情報を放送している。

以上、すべての審議が終わり、松下委員長は閉会の辞を述べ、委員会は終了した。

(2) 審議機関の答申または意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（12月予定） <http://www.acn-tv.ne.jp/>

以上